

# 議会だより



稲美町イメージキャラクター「いなっち」



お花見楽しいね！  
(さくらの森公園)

1  
月  
臨  
時  
会

3  
月  
定  
例  
会

新年度予算を可決 物価高騰対策に重点 ……	2P
8年度 主な予算をピックアップ ……	4P
「いじめ防止条例」「非核三原則の堅持を求める意見書」を可決 ……	11P
まちづくりをどうする 13人が一般質問 ……	13P

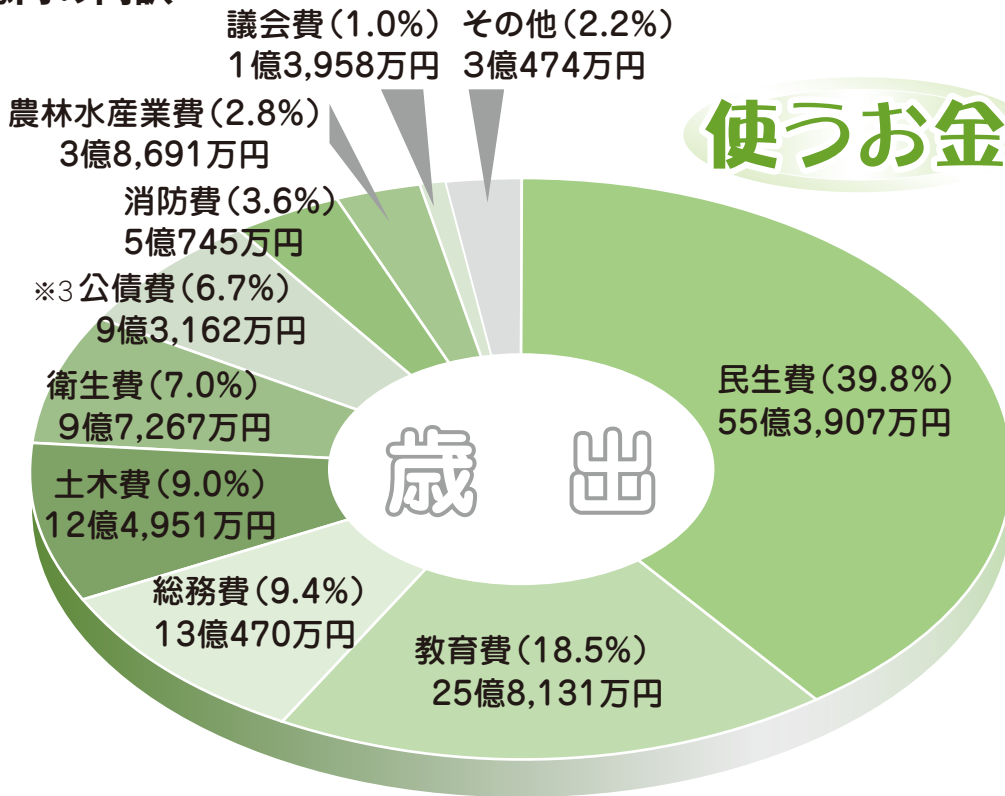
# に重点をおいた予算

## 億円を可決

### 定例会

### 3月定例会

#### 億円の内訳

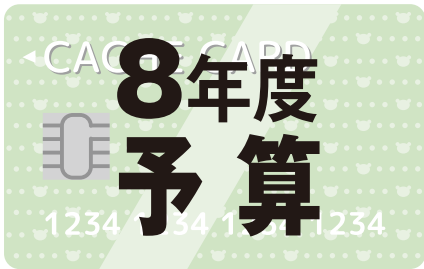


3月定例会は、2月19日に招集され、3月24日までの34日間の日程で開かれました。  
13人の議員が一般質問を行い、8年度予算をはじめ、条例の制定及び改正、7年度補正予算、専決処分など22議案を可決・承認しました。また、意見書1件を可決しました。(10～12ページ)  
なお、今期定例会の傍聴者は延べ29人でした。

8年度予算は特別委員会を設置し、5日間をかけて審査しました。  
一般会計139億1千万円、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計を合わせて101億円で、総額240億円を超える予算となりました。  
水道基本料金の減免、小学校給食無償化などの予算を計上しています。  
(4～8ページ参照)

### 用語説明

- ※1 町債  
町が借り入れるお金。道路や建物など、長期間使用する施設の建設費を、今後利用する住民にも負担してもらうもの
- ※2 繰入金  
歳入(入ってくるお金)が不足する場合に、基金(町の貯金)を取り崩して必要な事業に使うお金
- ※3 公債費  
借入金(町債)の返済をするお金

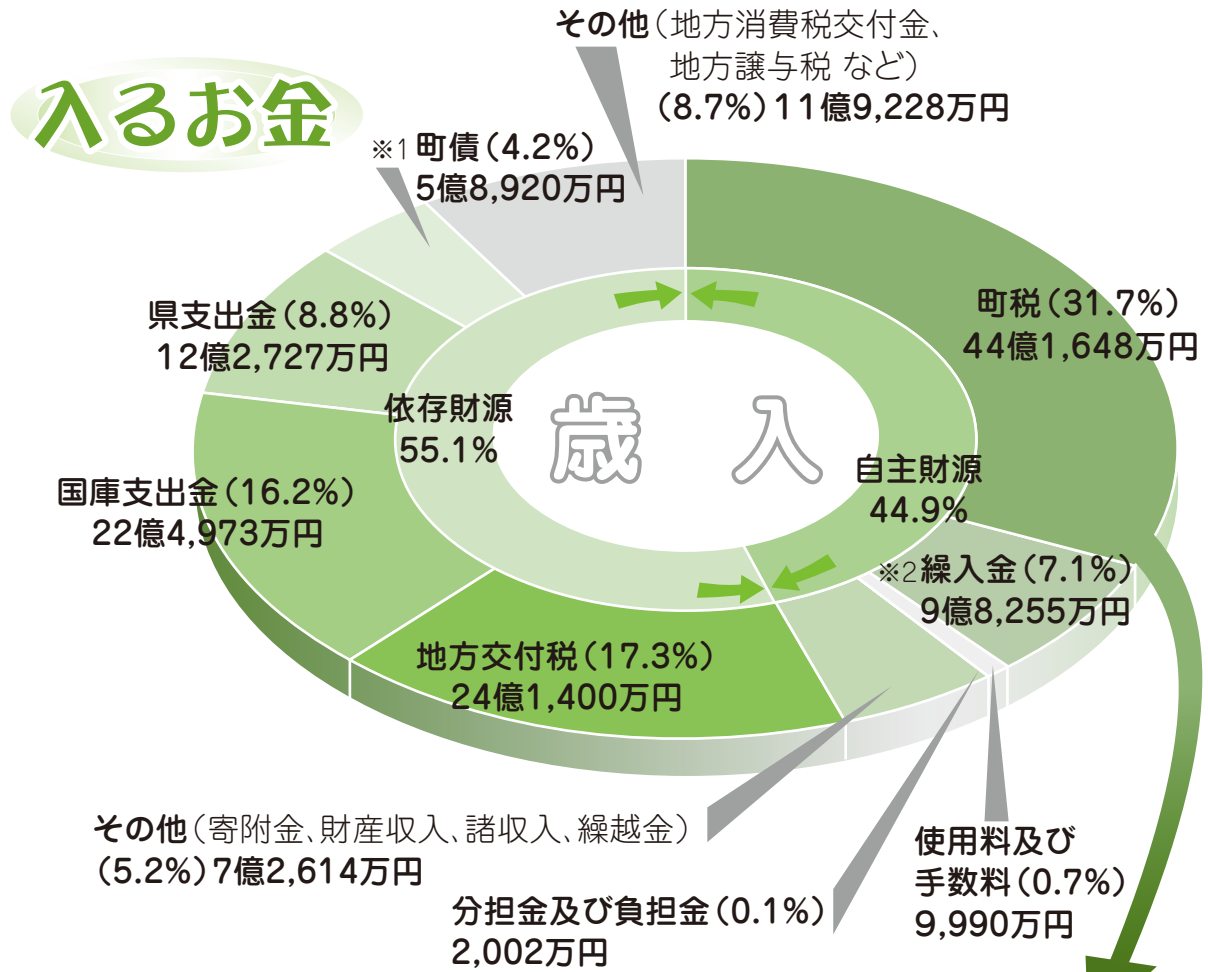


# 物価高騰対策

## 総額 240

### 一般会計 139

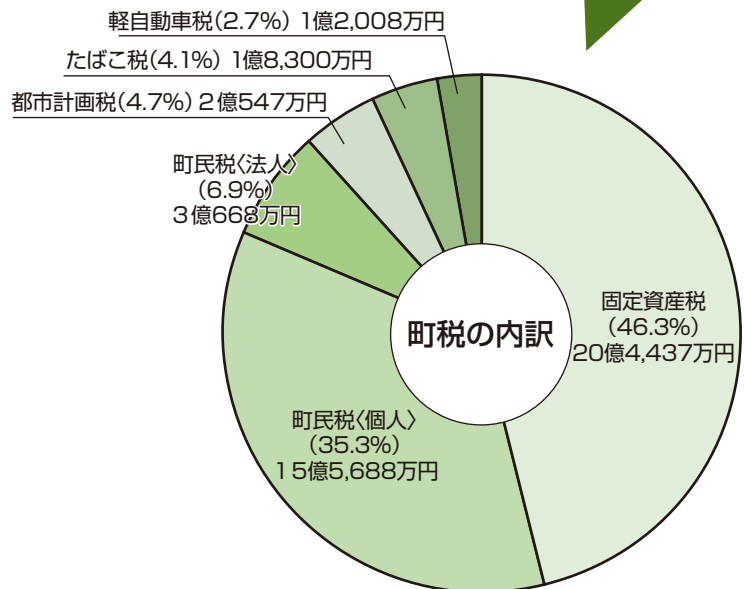
### 入るお金

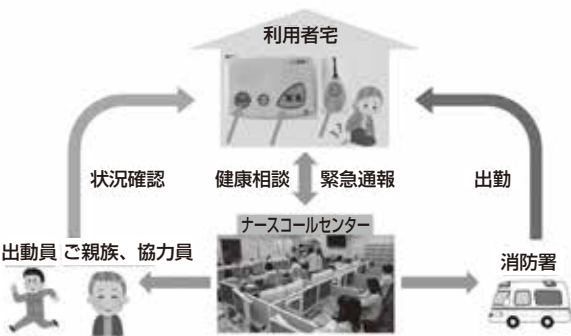


### 会計別予算額

区分	8年度予算額	対前年伸び率
一般会計	139億1,756万円	6.7%
特別会計	国民健康保険	32億1,251万円 △5.6%
	後期高齢者医療	6億9,496万円 9.9%
	介護保険	29億803万円 3.2%
	介護サービス	3,840万円 6.7%
小計	68億5,390万円 △0.5%	
水道事業会計	8億3,676万円 △59.5%	
下水道事業会計	24億1,625万円 △0.4%	
合計	240億2,447万円 △1.6%	

\*伸び率は、7年度当初予算に対するの比率です。  
表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと合計が一致しない場合があります。





緊急通報システムのイメージ

65歳以上のひとり暮らし高齢者等が急病・事故などで緊急に援助を必要とする場合に、ボタンを押すだけで近隣の協力者などに助けを求め援助が受けられるよう、固定型または携帯型の緊急通報装置（あんしんボタン）を貸与しています。

固定型に付帯の「見守りセンサー」を使用する場合、8年度からは公費負担により無料になります。（質疑は6ページ）

340万円

緊急通報システム  
見守りセンサーの使用料無料に

水道基本料金  
6カ月分を無料に

1億2506万円

物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、国の臨時交付金を活用し、水道料金の基本料金（6カ月分）を、無料にします。



町民の暮らしを支える免除措置を実施

3月定例会

施設園芸の暑熱対策費を補助

650万円

施設園芸を行う農業者が、猛暑対策で導入する設備費用の一部を補助します。

作業中の熱中症予防と農作物の品質保持、収量確保を図ります。（質疑は7ページ）



園芸施設



誰もが安心して子育てができる環境整備

保育施設の整備費用を補助

3億8680万円

加古保育園を認定こども園にするための整備費用の一部を補助します。

定員数を拡充することで、誰もが安心して子どもを育てられる環境整備を進めます。（質疑は7ページ）

# 主な予算を ピックアップ

## 全住民に地域振興商品券を交付

**3億2809万円**

物価高騰の影響を受けている住民への支援と町内商工業の振興を図るため、1月臨時議会で可決された住民一人当たり1万円分の地域振興商品券を交付します。(関連内容は9ページ)



## 健康づくり施設 大規模改修工事実施

**5562万円**

開設後約20年が経過し、老朽化が進む「いなみアクアプラザ」は、7年度に作成した実施設計に基づき、8年度から2カ年で大規模改修工事を行います。(質疑は8ページ)



大改修が行われる「いなみアクアプラザ」

## 全小中学校の屋内運動場

## 空調設備を設置

**4億2523万円**

児童生徒の健康維持や体育活動等の教育環境向上のため、7年度に作成した実施設計に基づき、8年度は町内全小中学校の体育館などに空調設備を設置します。

熱中症の予防や対策等とともに、災害時の避難所としての機能強化も図ります。



稲美中学校体育館

## 学校給食費

## 小学校 完全無償化

## 中学校 町の支援継続

**1億8522万円**

食材価格の高騰が続くなか、8年度から、小学校給食は国・県の交付金の活用と町の支援で、完全無償化を実施します。

中学校給食は、保護者負担分は据え置きで町の支援を継続し、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。



おいしい給食の時間  
(天満東小学校)

(質疑は8ページ)

# 小中学校の屋内運動場に

# 空調設備を設置

## 一般会計

総額139億1千万円の予算を審査



建物の健全性を維持し次世代へつなぐ（天満小学校）

### 主な質疑

#### 〔総務費〕

#### 公共施設等総合管理 計画策定事業

第1期計画は、8年度に10年の計画期間が終了します。

8年度に第2期計画を策定し、将来の財政負担の軽減を図りながら、老朽化対策等の施設管理に計画的に取り組めます。

**問** 10年間に実施した更新や長寿命化対策等の検証も行うのか。

**答** 検証を行い、次期計画を策定する。

**問** この計画には、道

路、橋、学校・幼稚園、公園、水道等の施設の長寿命化計画が反映されるのか。

**答** 本計画は、各施設の長寿命化計画の上位計画であるため、策定の際は、それぞれの最新計画を反映させる。

#### ふるさと納税推進事業

返礼品の充実と返礼品を提供する協力事業者を増やし、地域産業の振興と自主財源の確保を図ります。

**問** 協力事業者数と返礼品の数は。

**答** 協力事業者は43事業者。返礼品は、7年3月末の204点から

8年2月末では269点に増えた。

**問** 農産品の協力事業者数と返礼品の数は。

**答** 事業者数は12事業者から18事業者に、品数は72点から94点に増えた。

農産品は定期的な確保が難しいため、一定の期間だけでも出品いただけるよう努めたい。

#### 〔民生費〕

#### 緊急通報システム管理運営事業

あんしんボタン（固定型）に付帯する見守りセンサーは、自宅に設置したセンサー装置が動きを18時間感知



しなかった場合、自動的にナイスコールセンタ―へ通報し、本人の状況確認を行います。

**問** 旅行や入院などで、一定期間留守にする場合の注意点は。

**答** センサーの利用を止めるよう、事前に利用者から委託業者への連絡が必要である。



認定こども園化を目指す加古保育園

### 保育所緊急整備事業

加古保育園の9年4月からの認定こども園化を目指し、保育施設整備に係る費用の一部を、国の交付金を活用して補助します。

**問** この事業により、待機児童の解消につながるのか。

**答** 現在、主に0・1・2歳児で待機児童がいるが、加古保育園の認定こども園化に合わせて、定員も増える。

また、3・4・5歳児の幼稚園部分も創設されるため、保育・教育のニーズの多様化に対応できると考える。

**問** 現在は転入が増え対象児童も増えているが、ピーク後は児童数が減少し、同様の施設の定員割れが起こる心配はないか。

**答** 昨今の保育ニーズの高まりで、新たな利用者の増加が想定される。

また、近隣自治体でも待機児童増加や保育ニーズが高まっており、

町内の児童数が減少しても町外からの利用があり、定員を確保できると考えている。

### 〔衛生費〕

#### 産婦健康診査事業

8年度から、概ね産後2週間から1カ月の産婦に、身体的機能の回復、授乳状況や精神状態を把握するための健康診査を実施し、費用の一部を助成します。

産後うつへの予防及び早期発見、新生児への虐待予防を図ります。

**問** 対象要件と助成額は。

**答** 対象は、町内に住所を有し、8年4月1日以降に出産した産婦で、助成額は上限5千円を2回とする。

**問** 実施機関は。

**答** 基本は、兵庫県の集合契約に参加している県内の医療機関と助産所で実施する。

**問** 流産と死産の人も対象になるのか。

**答** 対象となる。

### 〔農林水産業費〕

#### 農業施設暑熱対策補助事業

ビニールハウスやガラス室などで園芸作物を栽培する農業者に対し、高温対策として導入した設備費等の一部を補助します。

**問** 補助対象となる設備は。

**答** 施設に設置する遮熱シート、遮光フィルム、遮熱剤、ミストシヤワー等を想定している。

**問** 対象者への補助率と補助期間は。

**答** 認定農業者及び認定新規就農者には補助



とても暑い園芸施設

対象経費の2分の1以内（上限30万円以内）、それ以外の農業者団体に所属する農業者には補助対象経費の3分の1以内（上限20万円以内）を補助する。

補助対象期間は、いずれも8年度から10年度の3年間とする。

### 有機農業推進事業

稲美町は、5カ年分の有機農業実施計画を策定し、8年2月8日に、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者・事業者・地域内外の住民が地域ぐるみの取り組みを進める町であるとする「オーガニックビレッジ宣言」をしました。

5年後の学校給食米の全量無農薬・無化学肥料化の実現に向けて引き続き取り組みます。また、8年度からは、有機農業の取り組みに新たに野菜等も加え、実証を行います。

**問** 学校給食米の全量無農薬・無化学肥料

化実現に向けた今後の計画は。

**答** 無農薬・無化学肥料米の実証実験を委託している営農組合が、8年度からは1団体増えて4団体となり、収穫量が増加する見込み。また、計画作付面積は、8年度の5ヘクタールから9年度は8ヘクタールに拡大し、更なる収穫量増加を図る。

**問** 有機農業に取り組み野菜の種類は。

**答** 根菜類を想定している。

### 〔商工費〕

#### 稲美町花火大会実施事業

昨年度に続き、1カ所当たり500発の花火を15分間、町内の3カ所で打ち上げます。昨年同様、会場への来場は不可とします。

**問** 打ち上げ時間を増やせないのか。



健康づくり施設 (いなみアクアプラザ)

〔土木費〕

健康づくり施設大規模改修事業

老朽化が進む健康づくり施設「いなみアクアプラザ」の改修工事を8年度から2カ年でを行います。

**問** 7年度の打ち上げの際は警察と協議し、来場者と路上駐車車の発生を回避できる限界時間として15分に設定した。

**答** 時間拡大はリスクが高まる恐れがあり、慎重な検討が必要となる。

**問** 母里地区内は、打ち上げ場所に入るのか。

**答** 母里地区内には花火玉の打ち上げに必要な保安距離を確保できる場所がなく難しいと考えるが、実行委員会と協議する。

**問** 8年度と比べて9年度に更新工事が集中する理由は。

**答** ボイラーが頻繁に故障しているため、8年度に更新工事を行う。屋上防水、プール室屋根ふき替え、プール本体の補強塗り替え、シャワールーム、電気・機械設備などの更新工事を、9年度の後半に施設を閉館し、集中して行うためである。

**問** 施設利用者の駐車場不足への対応は。

**答** 今回の改修に併せて駐車場を整備する。

〔消防費〕

防災備品備蓄事業

防災計画に規定する

防災備品全てを収納するには、役場敷地内の防災倉庫が手狭となっています。

新たな防災倉庫を整備するまでの間、一時的に旧コスモス児童館などの既存町有施設を活用し、非常食や備品を備蓄します。

**問** 乳児用の粉ミルクと液体ミルクの備蓄は。

**答** 現在は、確保できていない。近隣の計画やローリングストック方法等を研究中である。



ローリングストック (イメージ図)

〔教育費〕

天満小学校校長寿命化改修(実施設計)事業

8年度は、改修基本計画に基づき、不足している教室等の増築のための実施設計を行います。

**問** 増築の経緯は。

**答** 35人学級の導入、学校規模に応じた特別教室数、菊徳土地区画整理事業による転入児童の増加などに伴う教室の不足を見据えた増築である。

学校給食費管理事業

食材価格の高騰が続くなか、町の支援を拡大し、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

小学校の給食費は、8年度から、食材費と国・県からの交付金との差額を町が支援し、完全無償化を実施します。

中学校の給食費は、食材費が高騰している

議会を傍聴してみませんか

受け付けは、開会の1時間前から開始します。受付場所は役場3階の議場前で、傍聴席は27席設けています。(先着順) また、車椅子でも傍聴できます。要約筆記、手話通訳が必要な人は、1週間前までにお問い合わせください。

次回の定例会の日程(予定)

と き	予定されている主な内容
6月 9日(火)9:30~	議案の提案理由の説明
6月19日(金)9:30~	一般質問
6月22日(月)9:30~	一般質問
6月24日(水)9:30~	議案に対する質疑・討論・表決

【問合せ先】 議会事務局 ☎079-492-9147(直通)

なか、保護者負担額は引き上げず、食材費と保護者負担額の差額を町が支援します。

**問** 無償化によって、給食の質や量は低下しないか。

**答** 質や量が維持できるように努める。

ICT活用学校支援事業

2年度から全児童生徒に1人1台ずつ貸与しているタブレット端末に、8年度は小中学生用の教育ソフトを導入します。

また、幼稚園にもタブレット端末を導入し

ます。

**問** 小中学校で導入するソフトの内容は。

**答** AI型ドリルを中心とした学習支援サービスで、児童生徒の理解度に応じた問題提示により、個別最適な学びの実現を図る。

**問** 幼稚園での活用方法は。

**答** 1園につき2台程度のタブレットを配置し、調べ学習、運動・表現活動の振り返り、自然観察・飼育活動、記録共有・交流場面、園務の効率化などに活用する。



稲美町地域振興商品券（見本）

臨時会

第190回臨時会は、1月16日に開催されました。物価高騰の影響を受けている住民や町内の事業者を支援するための地域振興商品券交付に係る費用の7年度補正予算1議案を可決しました。

地域振興商品券

一人当たり1万円交付

7年度  
一般会計補正予算  
(第5号)

○住民に地域振興商品券を交付

物価高騰の影響を受けている住民や町内の事業者を支援するために、町の財政調整基金を活用した、住民一人当たり1万円の地域振興商品券を交付する費用が予算化されました。また、この事業には、国から支給予定の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の一部が活用される予定です。

主な質疑

問 交付基準と交付申請の有無は。

答 8年3月31日現在で、稲美町に住民登録がある人が対象で、申請は不要である。

問 交付時期と交付方法は。

答 5月中旬に、配達記録が確認できる方法での配送を予定している。

問 商品券を使える場所は。

答 稲美町共通商品券取扱店に登録している町内の店舗や事業所で使用できる。

問 デジタルクーポンではなく商品券を選択した理由は。

答 デジタルクーポンの場合、スマートフォン等を所持していない人は使えない。また、操作方法の問合せとなるコールセンターの設置も必要となることなどから、誰もが使いやすい商品券を選択した。

＝ 全会一致 可決 ＝

令和7年度 一般会計補正予算（第5号）

補正増額 3億2,809万円 総額 143億7,199万円

稲美町地域振興商品券事業費を増額

〈第5号〉歳入の主な内容

○財政調整基金繰入金  
3億2,809万円増額  
歳入歳出の調整による財政調整基金からの繰入金です。

〈第5号〉歳出の主な内容

○稲美町地域振興商品券事業  
3億2,685万円新設  
物価高騰の影響を受けている住民や町内の事業者に対し支援を行うための、住民一人当たり1万円の地域振興商品券交付に係る費用です。



＝ 全会一致 可決 ＝

# 定例会

## 役場西地区

## 建築制限を緩和

# 大型商業施設の建築可能に

### 改正された条例

○稲美町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

都市計画道路役場南線の南側に位置する

「A街区」と「B街区」にまたがって建っていた工場がなくなり、現在、更地となつています。

この工場跡地に大型商業施設の建築が計画されていますが、この場所には「役場西地区地区計画」の都市計画

決定が行われています。大型商業施設の建築計画に合わせ、B街区を北側の都市計画道路役場南線の位置まで拡大します。

また、B街区の住宅等の建築を規制する一方で、宿泊施設やスポーツ施設等の建築を可能とします。



工事が進む役場西地区の工場跡地

### 主な質疑

**問** B街区に隣接する県道宗佐土山線は、歩道がなく路側帯も狭い。この機会に歩道を確保できないか。

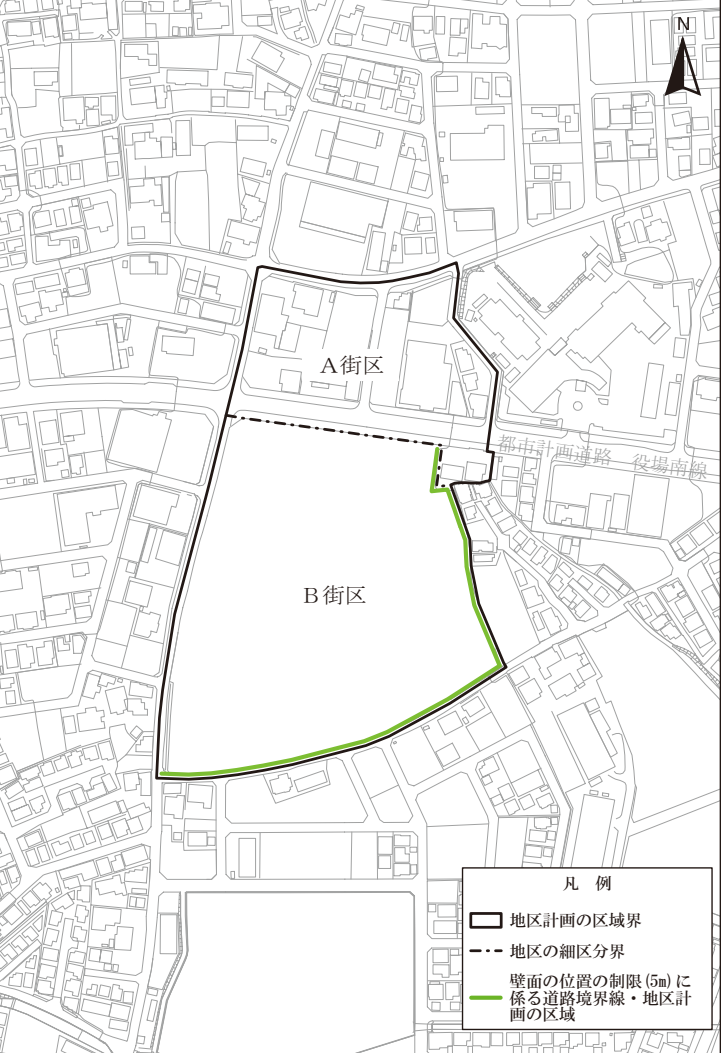
**答** 今後開催予定の開発協議で、歩行者が通れるスペースを確保できるように協議する。

### 主な質疑

**問** アーバンスポーツ施設で、どのような場合が占用利用か。

**答** 一定以上の規模の大会や教室などを想定しており、要綱等に規定する。

〓 全会一致 可決 〓



役場西地区計画図

凡例  
□ 地区計画の区域界  
--- 地区の細区分界  
— 壁面の位置の制限(5m)に係る道路境界線・地区計画の区域

○稲美町スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正  
8年5月に稲美中央公園内に完成予定の「アーバンスポーツ施設」の利用料金などを設定しました。(関連内容は22ページ)

また、8年3月に空調設備設置工事が完了した「いなみ野体育センター」の体育館及び会議室の空調の利用料金などを設定しました。

○稲美町いじめ防止  
対策推進条例の制定  
いじめは、子どもの  
心身の成長に深刻な影  
響を及ぼし、教育を受

## 制定された条例

〓全会一致 可決〓

アーバンスポーツ施設 利用料金

エリア区分	利用区分	利用料金 (単位 円)	
		9時～13時	13時～17時 (4月～9月は13時～18時)
スケートボードパークエリア	一般利用	無料	
	占用利用	12,000	12,000 (15,000)
3X3コートエリア	一般利用	無料	
	占用利用	4,800	4,800 (6,000)
テニス壁打ち・ボール遊びエリア	一般利用	無料	
	占用利用	4,000	4,000 (5,000)

問 占用利用があると  
きの、一般利用者への  
対応は。  
答 占用利用中は一般  
の人は利用できないの  
で、事前に周知できる  
よう検討する。

〓全会一致 可決〓

問 条文の冒頭に前文  
を規定した理由は。  
答 当事者となる子ど  
もたちに理解を深めて  
もらうため、前文で本  
条例の理念を分かりや  
すい表現で規定した。  
問 条例の周知方法は。  
答 児童生徒には各  
学年の発達段階に応じ  
た理解しやすい文言の  
リーフレットを配布し、  
地域の人にはチラシを  
全戸配布する予定。  
教職員は、子どもた  
ちが内容を理解できる  
学習を行う。

### 主な質疑

ける権利を著しく侵害  
します。  
この条例を制定する  
ことで、学校、家庭、  
地域、行政の役割を明  
確にします。また、社  
会全体で子どもを守る  
体制を構築するととも  
に、未然防止から再発  
防止に至る施策の総合  
的かつ実効的な推進を  
図ります。

## 意見書を国へ提出

### 非核三原則の堅持を求める意見書

(要約)

我が国は、広島・長崎の被爆の実相を世界に伝える唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界を実現する責務を負っている。昭和46年の国会決議などにに基づき、非核三原則を国是として堅持してきており、いかなる国際情勢の変化があっても揺るがしてはならない。

政府は核兵器の非人道性を踏まえた核軍縮に向けた国際的対話と協調を一層強化すべきであり、「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」とする非核三原則を厳格に堅持することを強く求める。

〓非核三原則の堅持  
を求める意見書  
国際社会で核兵器  
の保有や威嚇、核開発  
をめぐる緊張が高まる

◎意見書の提出先  
内閣総理大臣、外務  
大臣、防衛大臣など

可決しました

意見書のゆくえ

なか、非核三原則の堅  
持を求める意見書案が、  
山口 守議員から提出  
されました。

〓全会一致 可決〓

## 令和7年度 一般会計補正予算 (第7号)

補正増額 831万円 総額 143億9,680万円

地域介護拠点整備事業費などを増額

### 〈第7号〉歳入の主な内容

○物価高騰対応重点支援地方創生  
臨時交付金

2億1,566万円増額

重点支援交付金の推奨事業メニュー分の内示等による増額  
です。

7年度は、若者応援クーポン給付事業や地域振興商品券事  
業、学校給食食材物価上昇分支援事業に活用します。

また、8年度は約9,000万円の国の交付金が予定されており、  
水道基本料金の半年分免除に活用します。

### 〈第7号〉歳出の主な内容

○地域介護拠点整備事業

8,189万円新設

介護施設のプライバシー保護等の改修に  
関する補助金です。

= 全会一致 可決 =



7年度  
後期高齢者医療  
特別会計補正予算  
(第3号)

8年度予算審議

後期高齢者医療  
特別会計

〔反対〕 大路 恒  
後期高齢者医療制度は、75歳で年齢を区切り、国民間の対立と分断を図るものである。よって反対する。

〔反対〕 大路 恒  
後期高齢者医療制度は、75歳で年齢を区切り、国民間の対立と分断を図るものである。よって反対する。

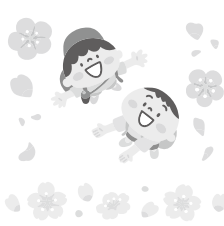
〔賛成〕 藤田 義光  
この補正予算は、高齢者が必要な医療サービスを受けるための基盤を強化するものである。よって、賛成する。

〔賛成〕 関灘 真澄  
広域連合が運営主体の制度は、全ての世代で支え合う医療保険である。本予算は、適正な計上であり賛成する。

〔賛成〕 山田 立美  
後期高齢者医療特別会計補正予算は、歳入増に伴う広域連合への保険料納付金の増額補正なので賛成する。

〓賛成多数 可決〓  
(賛成12、反対1)

〓賛成多数 可決〓  
(賛成12、反対1)



## 議案などの審議結果【1月臨時会、3月定例会】

### 賛否の分かれた議案

議案名	賛成	反対	議決結果	議決日	池田博美	小笠竜広	関灘真澄	山口守	山田立美	木村圭二	小山裕美	藤田義光	長谷川和重	大山和明	松村芳樹	河田公利助	大路恒	樋口瑞佳	
7年度予算 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)	12	1	可決	3/9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○
8年度予算 後期高齢者医療特別会計予算	12	1	可決	3/24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○

[表示例] ○…………賛成 ×…………反対

※議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決めます。

### 全員が賛成した議案

議案名	議決日
地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	3/9
いじめ防止対策推進条例の制定 ▶高齢期移行者福祉医療費助成条例等の一部改正 ▶職員等旅費条例の一部改正 ▶消防団員等公務災害補償条例の一部改正 ▶奨学金給付条例の一部改正 ▶放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正 ▶スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	3/24
一般会計補正予算 (第5号)	1/16
専決処分書 一般会計補正予算 (第6号) ▶一般会計補正予算 (第7号) ▶国民健康保険特別会計補正予算 (第3号) ▶介護保険特別会計補正予算 (第4号) ▶水道事業会計補正予算 (第3号)	3/9
一般会計予算 ▶国民健康保険特別会計予算 ▶介護保険特別会計予算 ▶介護サービス特別会計予算 ▶水道事業会計予算 ▶下水道事業会計予算	3/24
意見書 ▶非核三原則の堅持を求める意見書	3/9
その他 ▶町道の路線の認定	3/9

## 議会映像をインターネットで配信しています

議会開催時の生中継と録画放送が、インターネットを利用してパソコンやスマートフォンなどで視聴できます。詳しくは、町ホームページの「稲美町議会」「議会映像インターネット配信」をご覧ください。



まちづくりをどうする

## ここが聞きたい!!



※登壇順（質問順）に掲載しています。

質問者	掲載ページ	質問事項
藤田 義光	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①さくらの森公園駐車場の有効活用を</li> <li>🎤 ②小学校の交通安全教育の充実を</li> <li>🎤 ③地域防災マネージャー制度の活用を</li> </ul>
山田 立美	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①坂道のあるT字型交差点の交通事故防止について</li> <li>🎤 ②消防団応援事業所に対する支援策を問う</li> <li>🎤 ③障がい者の雇用状況について</li> </ul>
木村 圭二	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①街灯の電気料金の公費負担を求める ②消防団員出動報酬の見直しを</li> <li>🎤 ③「基幹産業は農業」の見直しを 🎤 ④無農薬米を学校給食に使用することを問う</li> <li>🎤 ⑤病児保育の実施を ⑥学校給食における輸入食品の使用状況を問う</li> </ul>
池田 博美	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①天満大池バイパスの進捗は</li> <li>🎤 ②土山駅へのアクセスは</li> <li>🎤 ③8年産コメの作付け状況は</li> </ul>
山口 守	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①自転車利用者のルール厳守やマナー向上を</li> <li>🎤 ②コスモホールでのイベントチケット販売方法の改善を</li> <li>🎤 ③エンディングノートの配布は</li> </ul>
樋口 瑞佳	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①認知症や障がいがある人のために「権利擁護支援センター」の設立着手を早々に!</li> <li>🎤 ②障がい者グループホーム新規開設推進の補助金制度を</li> <li>🎤 ③子どもや若者のための屋内施設、ユースセンター設置を 🎤 ④「オーガニックビレッジ宣言」を稲美町の特色に</li> </ul>
松村 芳樹	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①当町の財政調整基金額の妥当性について問う</li> <li>🎤 ②町内の野焼きについて当町の考えは</li> <li>🎤 ③児童発達支援センター設置に向けた当町の実情は</li> </ul>
関灘 真澄	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①農業基本条例の制定の必要性を問う</li> <li>🎤 ②二地域居住の促進と補助を提案する</li> <li>🎤 ③民法改正を受け「成年後見制度」が見直されたことについて</li> </ul>
大路 恒	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①下水道広域化推進総合事業の実施にあたって</li> <li>🎤 ②就学援助のうち新入学学用品準備費の現状は</li> </ul>
大山 和明	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①企業の誘致で活力のあるまちづくりを 🎤 ②「稲美・ため池めぐり健康ウォーキング事業」の醸成を</li> <li>🎤 ③オーガニックビレッジ宣言で稲美町が目指すもの</li> <li>🎤 ④超高齢社会に直面した「2025年問題」</li> </ul>
長谷川 和重	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①中山町長の4年間の総括的評価と令和8年度町長提案説明について問う</li> <li>🎤 ②宅地造成及び特定盛土等規制法にあたらぬ規制の創設について</li> <li>🎤 ③稲美町全域に拡大しているヤード問題について 🎤 ④稲美町役場における技術職員配置の強化について</li> </ul>
小笠 竜広	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①稲美町若者会議の開催を提案する</li> <li>🎤 ②奨学金返済支援を求める</li> <li>🎤 ③町内に新たな防災倉庫の設置を求める</li> </ul>
小山 裕美	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>🎤 ①引きこもり状態にある人と家族への支援のあり方について</li> <li>🎤 ②子どもの教育費負担の軽減は</li> </ul>

🎤のある質問事項を掲載しています。

# さくらの森公園駐車場の活用を

〔経済環境部長〕 国のガイドラインを参考にする



ふじ 田 よし みつ  
藤 田 義 光



シーズンオフの  
さくらの森公園駐車場

4月から、16歳以上の自転車運転者の違反行為に対し交通反則通

**小学校の交通安全教育の充実を**

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**経済環境部長** 国のガイドラインや他市町の取り組み状況を参考にしながら研究していく。

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**(注1) 交通反則通告制度(青切符)**  
信号無視や一時不停止等の交通違反に対し、一定期間内に反則金を納めることで刑事罰を免除される仕組みのこと。2026年4月1日から、自転車にも適用される。

**(注2) 地域防災マネージャー制度**  
自治体の防災力を高めるために、災害に關する専門知識を持つ退職自衛官を、市町村の防災担当職員として受け入れる仕組み

4月から、16歳以上の自転車運転者の違反行為に対し交通反則通

**小学校の交通安全教育の充実を**

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**経済環境部長** 国のガイドラインや他市町の取り組み状況を参考にしながら研究していく。

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

## 坂道交差点の交通事故防止策は 同様の箇所を一体的に検討する



やま だ たら しみ  
山 田 立 美



4月から、16歳以上の自転車運転者の違反行為に対し交通反則通

**小学校の交通安全教育の充実を**

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**経済環境部長** 国のガイドラインや他市町の取り組み状況を参考にしながら研究していく。

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**(注1) 交通反則通告制度(青切符)**  
信号無視や一時不停止等の交通違反に対し、一定期間内に反則金を納めることで刑事罰を免除される仕組みのこと。2026年4月1日から、自転車にも適用される。

**(注2) 地域防災マネージャー制度**  
自治体の防災力を高めるために、災害に關する専門知識を持つ退職自衛官を、市町村の防災担当職員として受け入れる仕組み

4月から、16歳以上の自転車運転者の違反行為に対し交通反則通

**小学校の交通安全教育の充実を**

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**経済環境部長** 国のガイドラインや他市町の取り組み状況を参考にしながら研究していく。

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**(注1) 交通反則通告制度(青切符)**  
信号無視や一時不停止等の交通違反に対し、一定期間内に反則金を納めることで刑事罰を免除される仕組みのこと。2026年4月1日から、自転車にも適用される。

**(注2) 地域防災マネージャー制度**  
自治体の防災力を高めるために、災害に關する専門知識を持つ退職自衛官を、市町村の防災担当職員として受け入れる仕組み

4月から、16歳以上の自転車運転者の違反行為に対し交通反則通

**小学校の交通安全教育の充実を**

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**経済環境部長** 国のガイドラインや他市町の取り組み状況を参考にしながら研究していく。

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

一般質問



坂道のある交差点

**(注) 消防団員応援事業所**  
地域で活動する消防団員に特典やサービスを提供する地域の事業所。地域全体で消防団活動を盛り上げ、地域の活性化につなげることが目的

4月から、16歳以上の自転車運転者の違反行為に対し交通反則通

**小学校の交通安全教育の充実を**

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

**経済環境部長** 国のガイドラインや他市町の取り組み状況を参考にしながら研究していく。

「さくらの森公園駐車場」は花見シーズンのみ利用され、それ以外は遊休地となっている。災害時に大型犬や集団避難に適応できないペットを同伴して、車ごと避難できる避難拠点にしてはどうか。

# 街灯の電気料金は公費負担すべき

経済環境部長 他市町の状況は調査したい



木村 圭二



街灯の電気料金を自治会に負担させている。住民負担の軽減のために街灯の電気料金は公費負担に。また、半額補助の自治体もあるの

で検討すべきだ。

経済環境部長 自治会

が負担することを承認してもらい設置してい

る。他市町の状況は調査したい。

## 病児保育の実施を

母里こども園の、体調不良児対応型病児保育を参考にすれば実施は可能ではないか。

健康福祉部長 医師の

確保、医療機関との連



園庭で遊ぶ天満東幼稚園の園児

携、看護師の確保、感染予防等の課題があり、実施にいたってない。

## 学校給食に使用する無農薬米は高すぎる

千葉県いすみ市は流通米と無農薬米の差額が500万円だ。当町では1500万円だ。一般財源からこれだけ負担し実施する事業か。

経済環境部長 金額は

予算執行の際に精査する。環境にやさしいコメを学校給食に使用することは、町とコメのPRになる。

# 天満大池バイパスの進ちよくは

地域整備部長 橋梁下部工16基のうち10基完成



池田 博美



町の主要幹線となる天満大池バイパス事業の今後の予定は。

地域整備部長 橋梁下

部工事は、現在16基中10基が完成。8年度は2基を工事予定。王子池交差点は設計、警察協議が完了。清久寺北側道路の平面交差で公安委員会と引き続き協議を行っている状態であると県から聞いている。警察から、国岡バイパスとの同時開通が求められるている。

土山駅へのアクセスは

地域整備部長 2号線

の右折専用レーンが南北とも8年度に工事着手、供用開始の予定。六分一交差点の渋滞状況を県に伝えているが、事業化に至っていない。

## 今年から始まるコン・ホ・シの作付けは

J Aの栽培ごよみでは、田植えは5月下旬となっているが、田への給水が6月の地域では間に合わない。

経済環境部長 栽培ごよみは、県も監修に携わり作られている。給水の変更を町から要請するべきものではない。



8年度に橋脚2基工事にかかる天満大池バイパス (現在橋脚 10基が完成)

# 自転車の交通ルール厳守を

経済環境部長 街頭や交通安全教室等で啓発する



山口 守



本年4月から自転車にも交通反則通告制度（青切符）が適用される。交通ルール厳守やマナー向上を図るため、周知と取り組みは、

経済環境部長 警察署

や交通安全連絡協議会と連携し、街頭啓発や学校園での交通安全教

室、広報やホームページ、ポスター、チラシ、SNSなどによる周知・啓発に取り組む。

コスモホールでのイベントチケット販売方法

生涯学習担当部長

年12月に発売のイベントでは、発売時間の約



自転車への青切符の導入（兵庫県警察本部ホームページから抜粋）

独居高齢者の万一の際に、本人の意思を伝えるエンディングノート

エンディングノート

1時間前には整理券による購入希望枚数が座席数を超え、それ以降に來られた人は購入できなかつた。意見などを参考に、今後の発売方法に生かしたい。

# オーガニックビレッジを特色に

町長 稲美町ファンが増す好循環にする



樋口 佳



人と環境・生物にやさしく  
できる範囲から

（注）オーガニックビレッジ宣言  
農林水産省「みどりの食料システム戦略」に基づき、市町村が地域ぐるみで有機農業の生産から流通・消費まで一貫した取り組みを進め、環境に配慮した持続可能なまちづくりを表明するもの

8年2月8日に稲美町は「オーガニックビレッジ宣言」を行った。町民にもたらすメリットは。

町長 既存の農業に加え、有機農業推進により、農家の所得向上、持続可能な農業の発展、稲美町と町農産物のPRにつなげたい。

消費者には選択肢が増える利点がある。学校給食には、有機米の安定的な提供を図る。

認知症や障がい者のための権利擁護支援センター設立着手を早々に

健康福祉部長 4月から設立準備を進める。

障がい者グループホーム新規開設推進の補助金制度拡充を

健康福祉部長 拡充や新たな補助金の創設予定はないが、稲美町内のグループホーム開設状況は注視していく。

子どもや若者のための屋内施設設置は

健康福祉部長 多様な居場所が必要と考えるが、現在は考えていない。

# 財政調整基金の積算根拠は

経営政策部長 行財政改革が成果の一つである



まつむらよしき 松村芳樹



子どもに関する相談窓口 (いなみっ子広場)

当町の財政調整基金残高の根拠は。また、条例の目的達成に必要な具体的な金額は。

経営政策部長 行財政

改革等の推進による健全な財政運営の成果である。具体的な金額は示せないが、基金残高は適正額の範囲である。

町内の野焼きに対する当町の考えは

当町はホームページに野外焼却禁止の例外を掲載しているが、ピニール資材の焼却はどう考えているか。

経済環境部長 燃やし

てはいけないものである。

児童発達支援センター設置の実情は

子どもの障害の有無にかかわらず、保護者を対象とした療育の啓発や、相談しやすい環境づくりが必要では。

健康福祉部長 町では

こんにちは赤ちゃん事業や乳幼児健診、5歳児相談の際に気軽に相談ができるよう努めている。また、いなみっ子広場でも相談ができるので、活用してもらいたい。

# 農業基本条例の制定で問題解決を

経済環境部長 農業振興の礎と期待はできる



せきなだ ますみ 関灘真澄



昨今、農業を取り巻く状況は大きく変化し、安定的・持続的発展を図るのは厳しい。

2月の「オーガニックビレッジ」宣言を皮切りに、基幹産業としての農業の位置付けを

明記し、地域の活性化と持続可能な農業振興を進める「農業基本条例」を制定すべきだ。

経済環境部長 それぞれの役割や責務が明確化できるが、課題もあるため、先進市町を参考に調査研究する。

経営政策部長 県との連携や拠点整備等の課題があり、本格実施の予定はない。これまで

二地域居住の促進と補助を提案する

取り組むことで地域経済活性化・後継者問題等に寄与するのは。

経営政策部長 県との

連携や拠点整備等の課題があり、本格実施の予定はない。これまで実施してきた移住・定住に直結するような地方創生施策を推進する。

成年後見制度の法改正があるが現状はどうか

健康福祉部長 現在の制度においては、本人の自己決定が必要以上に制限されるなどの課題が指摘されている。



稲美町 オーガニックビレッジ宣言式

### (注) 二地域居住

主な生活拠点とは別の地域に生活拠点を持つ暮らし方で、個人の心身の健康の向上や地方創生に寄与する新しいライフスタイルのこと

# 農集区域の公共への接続時期は

地域整備部長 10年に着手予定である



おおし ひさし  
大 路 恒



農業集落排水事業区域を公共下水道区域に統合しようとする計画は、スムーズに行われているか。

**地域整備部長** 加古川下流域下水道促進協議会（兵庫県、加古川市、高砂市、播磨町、稲美町）は、稲美町の農業集落排水8地区全区の加古川下流域下水道への接続を協議した。協議は円滑に進み、兵庫県、関係市町から接続承認を得ている。

公共下水道への接続時期はいつか。

**地域整備部長** 10年か



公共下水道へ接続予定の加古クリーンセンター

ら着手を予定している。

**新入学学用品準備費の現状は**

今年の4月に入学予定の対象者に入学準備費は支給されたか。

**教育政策部長** 2月27日に支給した。

その額はいくらか。

**教育政策部長** 1人当たり小学校5万7060円、中学校6万3000円。

諸物価高騰の折り、増額はしているか。

**教育政策部長** 昨年度と同額で増額は行っていない。

一般質問

## 企業誘致で活力あるまちづくりを

地域整備部長 町北東部地域で企業誘致を目指す



おおやま かずあき  
大 山 和 明



規制緩和や税の優遇等、行政の役割を果たし、企業誘致を成功させ、町の活性化を。

**地域整備部長** 町北東部地域で地区計画制度を活用して工業地化を可能とし、企業誘致を目指す。

地促進補助金や国・県の補助制度を活用できるように支援する。

「いなみ野」の補助制度を活用できるように支援する。

「いなみ健康づくりプラン」に合わせ「稲美・ため池めぐり健康ウォーキング」の醸成を

**経済環境部長** 水利用の魅力を伝える散策ル

いなみ健康づくりプランに合わせ「稲美・ため池めぐり健康ウォーキング」の醸成を

**経済環境部長** 水利用の魅力を伝える散策ル

「いなみ健康づくりプラン」に合わせ「稲美・ため池めぐり健康ウォーキング」の醸成を

**経済環境部長** 水利用の魅力を伝える散策ル

「いなみ健康づくりプラン」に合わせ「稲美・ため池めぐり健康ウォーキング」の醸成を

**経済環境部長** 水利用の魅力を伝える散策ル

超高齢社会に直面した2025年問題

社会保障関係費の増加の見通しは。

**健康福祉部長** 社会保障費は増加が予想される。広域連合等と連携し、適正運営に努める。



企業誘致で町の活性化を

# 町長就任後の人口減少対策は

## 町長 土地規制緩和の成果を期待する



はせがわ 長谷川 和重



中山町長の就任後、

町人口は約1100人減少している。子育て世帯が購入し、定住できる土地が必要では。

町長 6年から取り組んでいる土地の規制緩和と制度の成果が出るように取り組む。

今後4年間の施策の

取り組みを問う。

町長 町の立地条件を最大限に生かした施策に取り組む。また、役場西工場跡地に商業施設を、町北東部地区に工場建設を進める。

宅地造成及び特定盛土等の規制を問う

町レベルでの規制を。

地域整備部長 7年度から県の規制区域指定を受けているため、新条例制定の予定はない。

稲美町全域に拡大するヤード問題への対応は

「届け出・事前協議制度」を創設しては。

経済環境部長 町独自の届け出の義務付けは検討していない。

技術職員配置の強化を

経営政策部長 計画的な人材の確保と育成に、引き続き取り組む。

一般質問

# 町内に新たな防災倉庫の設置を

## 経済環境部長 地域特性等を総合的に検討する



おがさわら ひろのり 小笠原 広



東西に広がる当町の地理特性を考えると、災害時、地域によっては物資輸送に時間を要することが想定される。町域全体に対する防災倉庫の配置バランスは。

経済環境部長 現況は役場敷地内に2カ所、各小中学校7カ所に中型倉庫と小規模倉庫を配置しており、中央集約型と分散配置型のハイブリット型の配置体制をとっている。

新たな防災倉庫が必要では。

経済環境部長 新たな防災倉庫の配置体制を

計画する際は、地域特性、建設用地、管理方法などを総合的に検討する。

若者をまちづくりの当事者に

若者が主体的に地域課題を議論し、政策提案を行う「若者会議」開催への見解は。

経営政策部長 若者の社会参画は、地方創生の観点からも必要と考える。若者に特化した会議の新設予定はないが、若者が意見を出しやすい環境づくりに努める。



新たな防災倉庫（イメージ）



こやま ゆう み  
小山 裕美



# 引きこもり状態の人への支援は

健康福祉部長 相談支援機関と連携して対応する

全国調査で、引きこもり状態にある人は146万人以上とされるが、当町の状況は。  
**健康福祉部長** 300人弱と推定。そのうち相談支援機関で把握しているのは約50人。  
家族支援として、関わり方を学ぶ機会や交流の場などはあるのか。  
**健康福祉部長** 本人や家族の希望に応じて、専門機関の相談や交流の場につなげている。  
8050問題を抱える世帯で、親が要介護状態などになった際の生活支援はどうか。



孤立を防ぐために  
少しでも外とつながれる支援を

(注) 8050問題  
高齢の親と働いていない独身の50代の子とが同居している世帯に係る問題

**健康福祉部長** 町と町内の関係機関で、本人だけでなく家族全体をとらえて支援している。  
就労を唯一のゴールとしない、段階的な就労支援の実施状況は。  
**健康福祉部長** オンラインを含む就労継続支援等の福祉サービスや居場所などの紹介を通じて、社会参加につながる支援を行っている。  
**経済的事情による学習機会の差への対策は**  
**健康福祉部長** NPOによる無料学習の取り組みを支援している。

一般質問

視察報告

## 議会広報常任委員会 視察レポート

「より身近な議会だより」を目指して、令和5年度町村議会広報コンクール編集・デザイン部門で奨励賞受賞の和気町と、令和5年度町村議会広報コンクールで優良賞受賞の美咲町を視察しました。

### 読者に親しまれる広報紙づくり

岡山県 和気町

和気町議会だよりは、全ページカラーで、地元観光地や地域行事の写真やイラスト、見出し等を効果的に活用し、読みやすい広報紙づくりに取り組んでいます。  
元観光地や地域行事の特集ページを設け、特集ページには住民へのインタビューを掲載するなど、読者の関心を引く工夫がされています。表紙写真は住民公募しており、和やかな雰囲気の写真でした。

### 多様な手段で議会情報を発信

岡山県 美咲町

美咲町議会だよりは、行政用語や難しい熟語は使わず、写真を多く使い、読みやすい紙面作成を心がけています。また、ホームページやケーブルテレビ、SNSなどの情報媒体をフル活用して議会活動を発信する「メディアミックス構想」にも取り組んでいます。  
今回の視察での学びを、今後の広報編集に生かしたいと思います。  
(1月21日～22日)



手厚い歓迎を受ける

# SNSの活用を学ぶ

議会議務局実務研究会会員で三重県鳥羽市議員の北村純一氏きたむらじゆんいちによる「議員個人によるSNSを活用した議会報告のポイント」の研修を受けました。

現在、スマホは、若年層から高齢層まで広く普及しています。SNSは、議員活動を一度に多くの人に発信できる『新しい時代の広

報紙』で、文（言葉）と現場の写真を掲載すれば『信頼の見える化』につながります。

また、AIの活用は、掲載文を分かりやすく読み手に届く言葉に整えることができる一方、誤った回答を生成することもあるため、使用者による最終確認が必要です。

（1月16日・稲美町役場）

# 小規模企業の振興を

1月27日に「小規模企業振興条例の制定」をテーマに、稲美町商工会と生活産業建設常任委員会の委員で意見交換会を開催しました。

小規模企業振興条例は兵庫県内28商工会のうち22地域で制定済みで、稲美町は未制定です。条例制定により、行政と商工会の連携強化、事業承継支援、町

内事業者優遇策の制度化が期待されます。

また、地域振興商品券の利用が大型店に集中することや後継者不足の課題も共有されました。

今後も委員会として条例制定の課題を整理し、地域経済循環を高める施策検討の必要があると感じました。

# 議員研修会



# 意見交換会



# 議会運営委員会 視察レポート

4年に議員定数の削減・議員報酬の見直しを行った福岡県須恵町議会と、議会活動を住民に周知するための議会報告会を定期的に行っている福岡県豊前市議会を視察しました。

## 議員報酬見直し過程を視察

福岡県 須恵町すえまち

須恵町は、4年に議員定数を14人から13人に削減したことを機に、議員が議員活動のみに専念して生活できる環境整備が必要であるとして、町長が議員報酬の見直し（増額）を特

別職報酬等審議会に諮問しました。結果、より優秀な人材を確保し、議員活動を保障する必要があるとの答申を受け、議員報酬額の引き上げが実現しました。



議員報酬の見直しを学ぶ

## 議会報告会・議会改革を視察

福岡県 豊前市ぶぜんし

豊前市は、人口が3万5千人から2万4千人に減少する中、区長会からの申し入れを受け、議員定数を17人から15人、更に13人に削減しました。無投票や若者の議員へのなり手不足解消に向け、市民への議会報告会を定期的に実施しています。

また、PTAとの意見交換会では、市の課題を報告し、市への要望の聴取も行っています。

（1月29日～30日）

# 意見交換会

# 研修・視察報告

# アーバンスポーツ施設

## 建設進む



アーバンスポーツ施設の整備状況の説明を受ける委員

7年12月定例会でア  
スファルト舗装の撤去  
や遮音フェンス延長な  
どの工事を追加する契  
約を可決したアーバン  
スポーツ施設の整備状  
況を現地調査した。

また、検討中の利用  
料金の説明を受けた。  
利用料金の算出根  
拠は。

域展開の周知を図る。  
運営主体となる地  
域クラブと指導者・人  
材バンクの募集要項の  
完成時期は。

他市町の施設の利  
用料金や、国の都市公  
園運用指針に基づき検  
討中である。

協議を重ね、先行  
実施での課題を洗い出  
し、9年に登録ができ  
るように進めたい。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 松村 芳樹  |
| 副委員長 | 関灘 真澄  |
| 委員   | 山口 守   |
| 〃    | 山田 立美  |
| 〃    | 木村 圭二  |
| 〃    | 河田 公利助 |
| 〃    | 樋口 瑞佳  |

### 総務福祉文教 委員会報告

#### 今後の学校部活動地域 展開に向けて

10年8月からの部活  
動地域展開の本格実施  
に向け、8年度に、現  
行の部活動4種目の先  
行実施を始める。  
生徒や保護者等へ、  
より具体的な部活動地

事故やけがに備え  
るための保険加入を勧  
めるのか。  
施設入り口に案内  
看板や二次元コードな  
どを掲示し、加入を勧  
める。

#### 「あいのりいなみ」の 運行状況

4年度から本格運用  
を開始したデマンド型  
乗合タクシー「あいの  
りいなみ」は、6年10  
月から新たに15時から  
16時の便を追加し、全  
7便で運行している。  
土・日曜日や祝日、  
16時以降も運行できな  
いか。  
既存のタクシーや  
路線バスとの競合状況  
を考慮し慎重に検討す

「あいのりいなみ」  
の運行で、神姫バス利  
用への影響は。

公共交通を守る制  
度設計であるため、バ  
ス利用者が減少するこ  
とはないと考えている。  
現地調査  
いなみ野体育センタ  
ー空調設備を調査した。

#### その他調査事項

第2期地域福祉計画  
の策定、総合計画策定  
事業についてなど。  
(2月3日・5日開催)



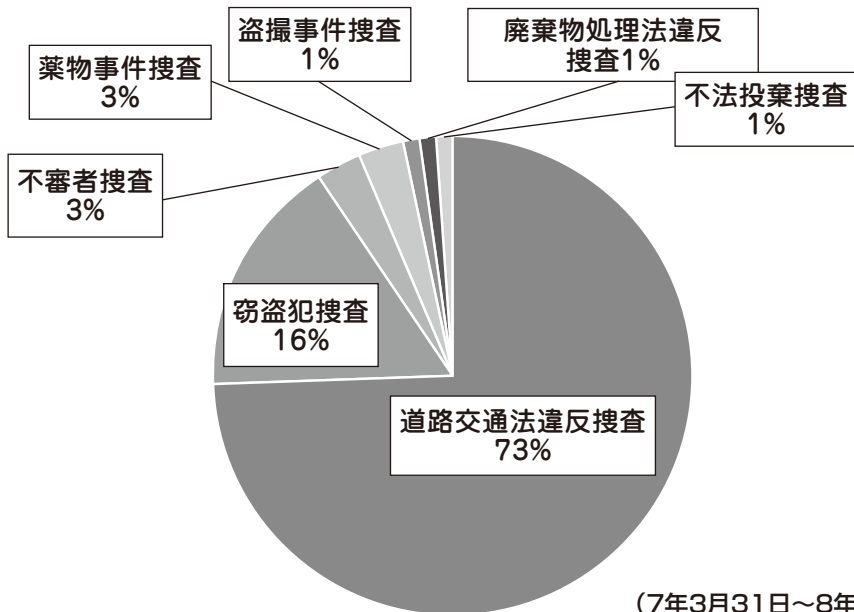
空調設備設置工事の様子を現地調査する委員

# 生活産業建設

## 委員会報告

- 委員長 小笠 竜広
- 副委員長 藤田 義光
- 委員 池田 博美
- 〃 小山 裕美
- 〃 長谷川和重
- 〃 大山 和明
- 〃 大路 恒

### カメラデータ提供依頼数



(7年3月31日～8年3月9日までのデータ)

# 見守りカメラ77台の増設計画策定進む

近年、犯罪の多様化や凶暴化が進行しており、住民の安全・安心に関心が高まっている。犯罪抑止や事件の早期解決のため、6年度は見守りカメラを107台設置した。

7年度は、犯罪捜査や地域通信網を利用した見守りサービスの充実を図るため、加古川警察署等の関係機関と協議し、見守りカメラ77台の増設計画を策定中である。

**問** 今後の増設予定は。  
**答** 今後の社会情勢や交通状況等を見ながら考えていく。

**問** 見守りカメラのデータの提供状況は。  
**答** 警察から52件のデータ提供依頼があり、そのうち40件は道路交通法違反に関するものである。

**岡地区の水利施設保全高度化事業を調査**  
農業水利用施設のプライバシー化やグラン



グラウンドカバープランツが植えられた長法池の法面

**(注) グラウンドカバープランツ**  
地面を均一に覆い隙間を埋める植物の総称。雑草抑制効果が高く、定期的な手入れの負担を軽減できる。

**問** ドカバープランツを法面に植えることで、水の省力化を図る。  
**答** 用水路のパイプラインを一括放流する箇所数は。

**問** 計画では12カ所程度を想定している。  
**問** グランドカバープランツの種は、工事の際にまくのか。  
**答** 工事中にまくが、定着後の維持管理は地元管理になる。

**役場西地区地区計画変更でまちづくり推進**  
役場西地区の準工業地域約5ヘクタールは、公害の少ない工場の誘導を目的とした建築制

**限を行ってきた。**  
この度、建築制限に関する条例を一定規模以上の商業施設の進出を可能とする内容に改正し、まちづくりを進める。

**問** 工場跡地には、1社のみが進出予定か。  
**答** 複数の商業施設が入ると聞いている。  
**問** 居住はできるよようにするのか。  
**答** 工場跡地については、用途制限するため、住宅を建てることはできない。  
**その他調査事項**  
7年度主要事業計画の進捗状況など。  
(2月4日開催)

# 社会福祉協議会 ボランティアグループ 「のじぎく会」を訪ねて



「のじぎく会」の皆さん

**メンバーと活動日を教えてください。**

メンバーは10人で、毎月第2・第3土曜日の9時から12時まで活動しています。

**どのような活動をしていますか**

竹を切って竹炭や竹細工を作っています。場所は金守、草谷、蛸草です。竹炭作りは煙の苦情もあるので、年一回冬

の寒い日に作業しています。切った後の片付けは、費用が掛かるのでしていません。

**グループとして望むことは何ですか**

高齢者が多いので、もう少し若い人が入ってほしいです。以前はボランティアまつりやふれあいまつりなどで幾らかの売り上げがありました。コロナ禍で売場所が

なくなりました。大根まつりも難しいので、提供してもらえない場所があれば嬉しいです。

**町に望むことはどんなことですか**

竹を切って捨てるだけでなく、何か役だてもらえればありがたいです。竹で紙を作って卒業証書にするところもあ



竹の伐採作業中

るし、竹酢液もできません。竹を使えば環境にも優しくなるので、も

っと普及してほしいです。それと、土地を有効活用して企業を誘致してほしいです。人が集まり、にぎわいがあると嬉しいです。



## ちよつとひと言



まる お よしき 丸尾 佳之さん (国岡)

この町で生まれ育って40年。自分なりに稲美町のことを知っているつもりでした。ところが一昨年の町民参加型ミュージカ

### 土地を潤す先人の想い

ル「龍をあむ」を観て、疎水やこの町の歴史を改めて知ることができました。露地野菜を育てた経験から水の大切さはわかっていたつもりでしたが、先人たちが苦勞して引いた水が今もこの土地を潤していると思うと、感謝の気持ちが込み上げてきます。

## 記 後 集 録

コロナ禍の中で小学校に入学した子どもたちが今春卒業しました。制約の多い学校生活を乗り越え、健やかな成長に目を見張ります。稲美町議会は子どもたちの未来を応援するために、予算や施策の議論を尽くし、町づくりを進めます。(山口 守)

### 議会広報常任委員会

- 委員長 木村 圭二
- 副委員長 藤田 義光
- 委員 小笠 竜広
- 委員 山口 守
- 委員 松村 芳樹
- 委員 大 恒

